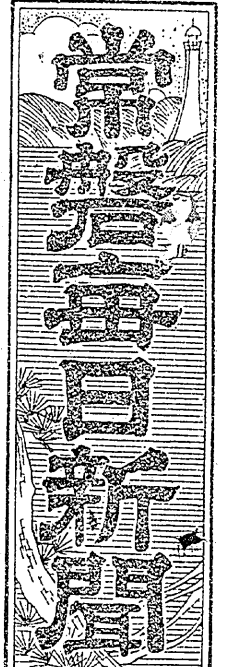


五月二十日



定額一圓... 發行所 常新日報社... 印刷所 常新日報社

陣中想出話 (五)

平町出身

歩兵第九聯隊 水野重光
第三中隊

橋本偵察隊捜査の記

今だに雨は霏として降りしきり、木の葉を打つ雨の音もまた一入淋しく聞こえて、救援隊の行季は亦暗々として輝光を望み見る事が出来ない、暮くして二三の兵らしき者前方約千米の地点に見る、誰だ橋本上等兵かと全員一呼に呼ばば「オーイ」と答ふ、あゝ橋本上等兵の聲たと喜ぶ者もあり、早速迎へて見れば先に下士兵より派遣せられたる山田一等兵以下二名を支那人一名で彼等も戦場附近を捜索せしも見當らず無念にも歸る途中なり、小隊長以下望みを失ひ之れを收容して北進す其の頃後方より米田曹長の率いる増援隊七名到着す之れは先に蚊河の聯隊本部へ連絡の爲出頭せし者にして中隊長は歸還の途次下車して増援を命じた者である、此處に於て小隊長は米田曹長「決心は如何に」と問ひ且つ自ら言ふ「最早遅くして捜索至難なり、明日を期して本日は一たん各要所に歸還し現在の手の薄の各要地の準備をなすを至當と考へたるも或は又山田一等兵の行

ノット

ひび、あかぎれは、かぎれは、冬季風に

當つたり、職業上手を常に水に浸したり、薬液にふれたりする場合に多く生ずるものですから、これを防ぐには常に脂肪類やグリセリンとアルコールの混和物を塗布するやうにします。

の救援を必ずや今や遅しと待ち居る事であらう、萬一戦死もし場分といえども此の山野に寸時たりとも置く事は出来ない、よし戦場探索を決定したる後歸還しよう、山田一等兵は探索路上の斥候に加り部隊を誘導せよ」と一同は更に前進せり、稍ありて山頂に到着せしに家が三軒あり、静止するに(唸り聲)らしき音聞える、ては此處まで引き返し重傷して唸りて居るのでは無い

きたる現場まで行きて生死を確めるも左程遅からず」と續いて全員に申された、「西伯利亞戦や日露戦争に於て重傷し無我無中の中を救けられて生存せし者も有り、なほ會津白虎隊の一名は切腹し死に切れず居る内一名の老母に助けられて生存せし例もあり、此處まで来て歸には後に心が引かれる、負傷せる彼等は戦友

か、小隊長は二ヶ分隊を遣して見るに土人の逃走せしばかりの處にて夫の唸り聲らしく望を失ふた。
かくして行く内に亦人家二軒あり、不思議に支那人

二明日の献立
【朝】じやかいもわかめみそ汁
【晝】豚肉、ねぎのステーキ
【晩】はす、里芋の煮え



あけびと子供

層雲派俳句

居りて一の通過の有無を聞くに、今日正午頃日本兵三名日本人二名支那人一名が通過し程なくして四五發の銃聲を聞きたりと云ふ、やはり此の道を通せし事は確實と勇躍前進す。

帽子にいつばい纏つけて讀んでゐるともだち
板縁に腰掛けてゐる晝の月
子どもらがむれてくる町の自動車
青い空をどんでゆくとて小さき雲
寒い風に吹かれては歩いてゐる

- ◎高價買入—金、銀、債券
- ◎安價販賣—時計と眼鏡
- ◎親切勉強—時計のお直し

星野時計店



六三四電通場車停目丁四町平

日本一低廉保険
愛國生命保険株式會社
有給社員募集
履歷書持参本人來談あれ!
平代理店 松崎長三郎
平町新川町

家庭温泉御案内
日本一の温泉草津の元泉に化學的操作を加へたる
草津温泉の素 家庭風呂に外用に!
心地よく温まり絶対に湯冷めせず湯上り気分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。
冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其他一般消毒用として特効あり。
定價 二〇〇瓦入 五日分 五十錢
二五〇瓦入 五日分 一圓
六〇〇瓦入 凡 三十日分 二圓
其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈いたします。
石炭の御用命と共に是非御使用を御奨めいたします。
海峽線 石炭商 伊藤軍二商店
平町一丁目電話三四九番
販賣元草津温泉研究所營業部
特約販賣募集 各町村一ヶ所に限る御中越あれ 特に御相談に應ず。

三河産業博覽會 金牌受賞
昭和産業博覽會
かまぼこ製造
お惣菜用 さつま揚 吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

平町各種階級の

調査世帯決定

商工四十一戸―其他四十戸

國富調査指定

(既報)第一回國富調査の指定町村たる平、平窪、草野上下小川、玉川の五ヶ町村では去る七日協議會を開催調査の打合せを爲した上各れも準備を進めてゐたが平町の調査戸数は商工世帯四十一戸、其他四十戸、合計八十一戸と決定全町各區から年收四百圓未満、同千圓未満、同千圓以上の三階級に分けて詮衡中であつた處今十五日平町の調査世帯を次の如く指定近く豫備調査を施行する事となつた

▲商工世帯年收四百未満者 若菜ミチ(長橋)吉野健助 石山忠三(材木)磯貝豊(古鍛冶)大槻重雄 橋本保治(中町)馬目尙治 大河原員孝丸(田町)大須賀元助(才樋)菊地一 堀滿正(南町)薄葉己之松 渡邊又吉(新川)大竹啓藏 (月見)飯澤達次(正月)馬場金太郎(鎌田)横山ハマ (下川原)西山秋美(仲間) 細川喜助(胡摩澤)

△補員 豊田ソキ(北白銀)折笠左重(北目)田卷隆一(紺屋町)

▲同年收四百圓以上者 未滿 阿部傳六(材木)水

野晃(紺屋)高野吉太郎 (鍛冶)瀬尾善之進(才樋小路)壺井モト 神谷富五郎(田町)高崎清明(才樋小路)熊謙次郎(中町) 小河原利助(十五丁目)佐々木喜平(研町)關原新一郎(一丁目)田巻造酒之助 (二丁目)大谷久藏(三丁目)鈴木與一(四丁目)田中宣治(新川)荒川淺次郎 佐藤榮吉(立町)金成國雅 (鎌田)赤塚勇吉(杉平)青木榮吉(久保町)

△補員 阿部章(紺屋)齊藤敏實(田町)鈴木賢次 (二丁目)

▲同年收千圓以上 吉村安次郎(研町)關内正一 (二丁目)猪狩庄平 柴田徳次(四丁目)▲補員 中野庄吉(二丁目)▲其他 年所得千二百圓未満 瓜田壽 渡邊小次郎(材木)小松キミ(紺屋)渡邊美登 (古鍛冶)伊坂道雄(鍛冶) 高橋寛(中町)坂本伊三郎 (田町)吉田五平(大町)新家芳美(新川)杉田四郎 (鐵道)村上七之助 橋源次郎(立町)西野源次郎 (南白)白石茂市(舊城)下妻義雄(六間門)金成留吉

(道匠)小林保雄(杉平)△補員 佐藤伊太郎(鷹匠) 江戶武(胡摩)吉田政吉 (八幡小路)▼同千二百以上五千未満 津田達造 (紺屋)山崎恭平(紺)門傳清吾(搔槌)矢吹大輔(古

小名濱築港の 地元寄附至難 炭礦に應援を 求めたが不得要領

既報南港築港工事に對し十二萬五千圓の老大な地元寄附を命ぜられた小名濱町當局では全く夢想だにしてゐなかつたに極度に困惑過般來相次町會を召集して此の對策を協したるが結局常磐炭界から合計二十萬圓程度の寄附を仰ぐ以外に路なしとして鈴木町長町會代表小野晋平氏等が磐城入山、古河の三大炭礦に向つて交渉を開始更らに十二日鈴木、小野兩氏は出京前記三大礦の本社に首腦者を訪ひ正式に寄附要請の交渉を爲して十四日歸町したが三社協定の上で遂つて回答す

鍛冶)渡邊富義 萩原義雄 四家泰治 國府田直良(鍛冶)野木文彌(田町) 岡山克己(南町)清野キヨ(南)藤井一(大町)曾我直治(舊城)中島十藏 矢野泰次郎(胡摩)山部正勇 (揚土)吉田金作(八幡)山浦采女(鐵道)△補員 酒井寅之助(二丁目)山野邊義政(搔槌)藤田榮助(田町)▲同五千圓以上 堀江正直(番匠)上田耕作 (南町)高久忠(田町)木村寅次郎(新川)織田豊太郎 (南町)△補員 酒井國三郎(南町)

銀行志望が最多 平商の來春卒業生

平商業學校に於ける來春の卒業生は三十八名にてその志望別は銀行十一名、會社九名、商店七名、藥學校一名、醫學校二名、自家營業八名であるが既に就職口の確定したるもの三、四名ある由

曾我校長出縣 平第一小學校長曾我直治氏は本日本縣教育會館建設委員に囑託されたので來る二十一日午前十時より縣廳教育課に於て開れる委員會に出席する

山田耕整役員 石城郡山田村字井上小山田聯合耕地整理組合では本月初旬役員の変更をなし組合長蛭田兼吉、副組合長鈴木辰藤理事蛭田一也、同大井川朝之助等が就任した

高久養繭協議 石城郡高久村養繭實行組合では來る廿日同村小學校に役員會を開き本年度決算の報告其他を協議し終つて忘年會を催すと

磐城高等女學校にては來る縣下女子中等學校体育大會に必勝を期し、陸上、庭球、排球の猛練習を行ふ事になつたがコーチャイは左の如くである

(監督)正木校長 中川教頭(庭球)土岐 鈴木光 日野 大内(籠球)新妻 小沼(排球)永島 穴井 (陸上)永島

猛練習を開始

磐城高等女學校にては來る縣下女子中等學校体育大會に必勝を期し、陸上、庭球、排球の猛練習を行ふ事になつたがコーチャイは左の如くである

平映畫界

回平館 漫畫「花咲爺」五六篇、怪人の襲撃「日活現代劇」廣瀬恒美 瀧花久子主演「大洋兒」日活時代劇海江田讓次 櫻井京子主演「春秋上州路」

回平館 新興キネマ時代劇雲井龍之助結城重三郎

開業廣告

外科 醫學博士 渡邊 義夫
内科 女 醫 渡部きい子
小兒科

入院應需 渡部外科

平町町大通り(電話二七七番)

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

市原醫院 平町田町 電話一四番

平町人事

回出生 柳田三 有賀高藏氏二男 信高

回婚姻 八名古屋市西區木挽町七ノ八柳田安太郎(三一)鍛冶町二八富田サダ(二三) 回死亡

△新川町二八松崎寛(二五)

磐城セメント會社特約店

久松屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

良品廉賣に勝る商略なし

確實敏捷はの生命なり

郡内の救済事業で一日 三千二百の失業者動く

生活苦も幾分は緩和さる

平土木監督所管内の失業者救済今秋來全郡内町村一齊に着工され現在平町の新川改修工事に於ける約百五十人を始め此の匡救事業に雇はれる労働者は一日平均合計三千二百餘名に達して居り去四月の失業調査に於ける郡内の失業者は約七千五百名の約半數は此の匡救事業で救ひ上げられた譯である

チブス患者續出

此處二三日に七名隔離 相當悪性が多い

目下平町には腹チブス患者が續出して此處二三日中に七名隔離舎に收容されたが冬季のチブスがいつも悪性のものは多く全快迄には日數を要するとの事として町役場衛生課では大いに憂慮して居る

刑事の眼光

豫防デーに犯罪嚴戒

平署では昨報の如く廿二日より一週間の犯罪豫防デーには犯罪豫防の一方法として徹底的に檢舉に努力すべく各刑事が八方に眼を光ら

五日より五日間冬休を利用して上級學校受驗生の爲め英語數學國語の講く會を開催するが上級學校の志望別は左の如習三十名であると

師範二部一 東京高師
五 醫學專門三 藥學校

密柑箱を背負ひ 深夜の街を行く

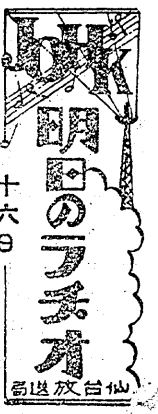
怪しい青年平署に引致

昨夜十二時頃平町長橋町地内で背中に密柑箱を背負つた舉動不審の青年が徘徊して居るのを密行中の平署員が怪しみ本署に引致して取調べると同人は平町鎌田町鑄物職高崎忠治(三)といひ

コン泥専門の男

女生徒の靴を盗んだのが運の盡き

石城郡小名濱町宇後場居住無職崎村正太郎(三)は本月八日玉川村小學校を關より生徒鈴木マツヨ所有のゴム長靴一足を窃取した事發覺小名濱警部派出所に檢舉されたが取調の結果同人は昭和四年以來同町附近部落にてコン泥三十餘件を働き全部小名濱町で遊興に使つて



今晚も明日も北西の風晴れ

今晚の部
後六、〇〇(子供の時間)
童話一鹿になつた弟 鈴蘭こども會
後七、三〇 浪花節の夕
後九、三〇 満洲より
後九、四〇 全國ニュース
氣通報 番組豫告

三 家政學院 帝國女子
專門 體育專門 神學校
共立女子專門 英學塾
音樂 東洋齒科 青山學院各一

明日の部

- 前九、一〇 料理献立
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「紙芝居と兒童」關寛之
- 後〇〇、五〇 俳諧「酒造り唄」一二三外
- 後〇一、二〇 俳諧「出雲名物」出雲安來檢番
- 後二〇、〇〇 婦人講座「婦人の理想と現代婦人」成女高等女學校長 宮田修
- 後五、〇〇 受驗講座「漢文」塚本哲三
- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話「牡丹餅」高島巖
- 後七、三〇 「冬山の夕」冬山座談會
- 後八、四〇 獨唱 四家文子
- 後九、〇〇 講演「冬の日本アルプスを語る」鹽島鑑治 黒岩直吉
- 後九、〇〇 自動車助手 二十五才
- 高卒 給料面談(内郷村某)
- 機械工 十五才 高卒 給料面談(平町某)
- 女中 三十三才 通勤高一修 給料面談(内郷村某)
- 土工夫 十九才 尋卒 給料面談(湯本町某)

平裁判たより

樺太榮濱郡目下住所不定前科三犯無職川部定吉(三)が月見町白土ムメ方に於て一圓三十五錢の無糖飲食をなした上座敷にあつた黒ラシヤ外套一着價格十八圓を窃取逃走したる窃盜事件の公判は本日午前九時小林檢事より懲役一年を求刑直ち關口判事より求刑通り懲役一年を言渡された

石城郡内郷村大字宮字御殿十四番地雜夫赤塚利之助(三)及び同所四番地坑夫齋藤臨平(三)同村大字御臺境字立町三十八番地無職穴澤新三郎(三)の三名に對する窃盜及

平職案の所報告

回人を求める方

- 出前持 二十五迄 尋卒 月三圓(平町某)
- 鐵工徒弟 二名 十七八才 尋卒 仕着小遣(小名濱町某)
- 幼年工 十七八才 尋卒 通勤 日給五十錢(平町某工場)
- 女中 十八才 尋卒 給料面談(平町某)
- 回職を求める方
- 鑄物工見習 十七才 高卒 給料面談(内郷村某)

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演 近藤紫雲畫

第二百廿五席 平手造酒

獅子奮迅の造酒 笹川繁藏の子分は平手造酒、勢力富五郎を頭に十人打揃つて笹川の宿を利根川縁に付いて小船へ来てあ

富「それでは俺達の押して来る事を知つたか、何うして是を助に洩れたか」



造「不思議だな、見ろ、あれには人が居るやうだが他所は静かだがあの邊は混雑して居るやうだ」

富「成る程先生、こいつは妙だね、オイ八や向ふの様子を見て来い」

ト突いて来た、造酒は早くもそれを避けヤツと云ふとこの槍の柄を切り折つた、

平手はこれを知りて、造「死地に入つて生を得る

とはこの事、助五郎は俺が引受けた、まづ茲で死ぬものと決心して押し寄せろ」

年の頃より勢力の世話になつて其後子分となり富五郎を親のやうに慕ひ、又平手に就て剣術と柔術を修め年

物質 一般 類券債種各 店質井三

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫

木村外科醫院 平町五丁目橋際 電話三〇〇

十日 体温の検査日です お宅の体温計は? 西村屋藥局

吉田眼科病院 平野町、電話六八番

新築落成 開業御披露 御料理 玉よし

山久團扇店 明年のウチワ、扇子は諸掛のか